京城日報

本日四頁

發行兼編輯人　泥谷良次郎
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
振替京城三〇〇番

誤まれる佛の樂觀
ルール占領に就て獨首相演説

【伯林二十四日發電】獨逸首相クーノ氏がミユンヘンで行つた演説は獨逸當局を通じて强い戰鬪を與へた獨逸人はルール地方に於て獨逸人の威信を死守せる結果佛國人を退かしむる時機があるとの結論を取つて居る之に反し佛國新聞は佛國の侵略と暴戻に對し擧つて政府の政策を援助して居る獨逸新聞は佛獨兩國間に交渉を開く時期は未だ計畫せぬと斷言して居るが佛國政府が獨逸は屈服するものと樂觀してゐるのは良しくないと指摘して居る尚獨逸内相は帝國議會に於てロッスバッハ大尉逮捕の政治的方面に付いて述ぶる所あり其の刑事的方面は裁判所で處理すると云ひ極端國民黨員の活動を阻止する爲め政府は强硬なる手段を採りつゝある職々の流言あるも神經を惱ます程の事はないと斷言して居る

倫敦銀行勞農國立銀行代理

【東京電報】某所著電によれば倫敦銀行は今回勞農露國國立銀行の英國代理店たる契約成立した

露國承認と米態度

【華盛頓二十三日發電】露國問題は日々米國上下の視聽を集めてゐるがフーヴァー氏は二十三日米國露國救濟事業に關して曰く、目下の露國政府が其經濟の組織の原則を變更せざる限り露國承認の根本は確立する事は出來ないと

加奈陀移民條約交渉

【オタワ二十三日發電】加奈太首相は下院にて日本、加奈太間の移民條約改正の爲に日本と交渉中と報告してゐる

白軍再活動説

【北京二十四日發電】朝鮮に亡命せる白軍の首領サゞノフは再び活動を開始し某國之を援助の形跡あり彼は長崎でセメヨノフ將軍と會見するであらう

旅、連回收運動
漸く濃厚となる

【上海二十四日發電】上海に於ける旅順、大連回收運動が漸く濃厚となり市中各所に二十一ヶ條否認旅順、大連回收の文字を記したビラを貼り出せるもの多く日本との經濟的斷交を主張し中には『日本の品を買ふな原料を賣るを止め各商店をして日貨を用ゆることなく固く持して讓るなかれ』との文字を刻した印章を造り之を用ひしめんとするものあり尚ほ共和派は各團體の市民大會を開く可く二十五日午後國際聯合の示威運動をする筈であるが當地護軍使及び警察廳長は二十一ヶ條否認旅順大連回收示威運動を爲すこと治安に妨げありとし之を禁止するに一致した

輿論反響微弱
廣東方面は極めて平穩

【廣東二十三日發電】二十一ヶ條問題に對する當地輿論の反響は極めて弱く僅に一、二の新聞が悲憤慷慨的の筆を弄するのみ支那の現狀に愛想を盡かせる香港の英字新聞は何れも日本の立場に同情してゐる

廣東民黨緊急會議

【廣東二十三日發電】二十二日民黨の緊急會議開かれ孫文を始め民黨の有力者軍隊の長官等出席、内容は沈鴻英の廣東管理に反對宣言と沈鴻英討伐宣言と沈鴻英軍に對する事であつた

罪狀宣布に就て會議

【上海二十三日發電】孫文氏は北方政府の統一を破壞するの罪狀に關して宣布すべく廣東にその要人物を集めて會議したといふ

日貨排斥は永續すまい

【上海二十四日發電】日貨排斥は殷々實現するに至つた之に關して上海に於ける支那總商會は

一、排貨が到底永續的に實行不可能であることを承知してゐること
一、排貨に依つて財界が一層不況に陷るの虞れあること
一、近來支那から日本向の輸出が一般に頻繁とあつた結果之を停止する場合には關係商人が打擊を蒙ること

等の事情により極端に排貨運動は行はれまいと思はれるが五月九日の所謂國辱記念日迄には排貨の氣勢が繼續するものと見なければならぬ

釐金税を免除する
支那棉花禁輸失敗對策

【北京二十四日發電】支那の棉花輸出禁止は元來支那内地の紡績業者を救濟せんとするに在つたが、實行不可能となつたので此の便法を設け當初の目的に副はしむる爲め支那紡績業者が購入する棉花に對しては釐金税を課せざる案を建たりと

第四十六次帝國議會

貴族院本會議（廿四日午後）
救恤に關する法律案其他

朝刊より續く＝▲産業組合中央金庫法案右第一讀會續きを開き勸修寺委員長の修正可決の報告通り可決確定▲日程第十二西伯利引揚の爲め損害を蒙りたる者等の救恤に關する法律案（第一讀會續）寺島委員長の報告あり通告順に依り

矢口長右衞門氏（公正）額百五十萬圓と云ふのは餘りに僅少な額ではないか

寺島委員長　委員會では問題にもならず何れも政府の說明を以て滿足された樣であつた

矢口氏更に外相との間に引揚通商問題につき問答する所あり次に

阪本釤之助氏　今後更に救恤者を出すが如きことあるも政府はこの百五十萬圓の範圍内に於て然るべく斟酌する心算であるか

内田外相　これは既に沿海州樺太方面に於ける損害を三千萬圓と見其二十分の一を救恤することゝした旨を答へ可決確定次に

▲日程第十三水先法中改正法律案右第一讀會を開き勝田銀次郎氏より政府の意見を質せば前田遞相は政府は遺憾ながら本案にては賛成することが出來ぬと答へて委員附托

▲日程第十四災害地地租免除法中改正法律案

▲日程第十五所得税法中改正法律案右第一讀會を開き夫々委員に附托次ぎに

▲日程第十六産業組合中央金庫法案を議了し

▲日程第十七司法官試補及び辯護士の資格に關する法律案は濱田委員長の報告中議場定員數を缺ぎたる爲め六時十五分散會を宣す二十五日は午後一時より開會の豫定である

都市計畫
特別委員會

【東京電報】貴族院の都市計畫法中改正法律案外一件特別委員會は二十四日午後一時十三分開會直に討議に入り

岡田良平君　本案は結局地租と營業税との均衡を失はしむるものにて不當の案なるも會期切迫し修正不可能なれば政府に將來の注意を促す條件を附して可決すべしと提議し伊澤多喜男君其他の賛成あり異議なく可決し明治四十一年法律第三十七號中改正法律案をも異議なく可決した

朝鮮關係建議案可決
朝鮮事業公債改正案委員會（廿四日）
四大築港と全邱鐵道問題

【東京電報】二十四日の朝鮮公債法中改正法律案委員會は午後も引續き開會

一、内地と朝鮮臺灣樺太南洋群島關東州及び滿洲鐵道附屬地間の郵便電信料金統一に關する建議案（牧山耕藏君提出）
一、仁川築港擴張に關する建議案（同上）
一、關東州裁判制度に關する建議案（齋藤隆太郎君提出）

何れも全會一致を以て可決終つて

吉野小一郎氏（關東廳）縮小說があるかと思へば一面には關東長官の權限擴張說も行はれてゐるが當局の所見如何

伊集院長官　縮少論に對しては議論が無いでもないと答へ尚ほ權限擴張問題につき數次の押問答を重ねたる後朝鮮問題に入る

阪上貞信氏　鎭南浦及び港灣に關する政府の所見を承はりたし

有吉政務總監　研究調査には努めてゐるが未だ具體的決定を見る迄には至つて居らぬ尚ほ港灣の築港に就いては財源の關係もあるから俄に築港を始めると云ふ譯には行かない

阪上氏　群山鎭南浦多獅島築港に就ては大正十三年度から實行に着手する樣取扱はれんことを希望する

總監　交通整理と云ふ點からは實に同感であるが財源の關係もあるから豫め御約束は遺憾ながら出來兼ねる

松山常次郎氏　朝鮮の水利事業は財源に資金が不足ならば東拓を動かして融通させると云ふ樣な方法も採り得るではないか

總監　それも或は一策かは知らぬがそれと確に明言することは出來ない

松山氏　東拓は現在朝鮮に對し何等の貢獻をもしては居ぬ樣であるが斯かる狀況なる會社は之を分離して其の朝鮮に於けるものは總督府が之を管理することゝしては如何

總監　組織や契約が左樣なつては居らぬから分離することは不可能である

と答へ尚二三の問答ありたる後

一、多獅島築港に關する建議案
一、全邱鐵道建設に關する建議案
一、群山港國營修築に關する建議案
一、鎭南浦築港速成に關する建議案

右四案を一括可決し午後四時散會した

拓殖省の設置（廿五日）
外相、曖昧裡に葬り去る

【東京電報】廿五日下院朝鮮事業公債法中改正委員會は午前九時二十分開會質問に入る

加藤定吉氏　滿洲の三頭政治の批難につき質せば

内田外相　實際上止むを得ぬと答へ次に

門田新松氏　滿洲の財界救濟策として大藏省當局は何か考慮してゐられるか

市來藏相　これは從來現在將來を通じて憂慮してゐる補助金額となるべし考へてゐる

門田氏　滿洲の救濟金は遠からず纏まるか

市來藏相　まだ二三の點で決定せぬが遠からず出來ると思ふ

尚二三問答あつて後鈴木久治郎氏と内田外相の間に日滿連絡に就いて問答あり次に竹澤太一氏より移民政策につき二三の質問をなしたるのち

牧山耕造氏　拓殖省設置に就き外相の意見を聽きたい

内田外相　拓殖省設置は個人としては無論賛成であるが意見を述べる事は差控へたい

牧山氏　移民の世論を外務省に於て喚起させることは如何か？

内田外相　これは問題のある所だが移民事務に就いては逐年擴張しつゝある次第である

と答へ質問を終了し、日露通商促進に關する建議案を可決し十一時十五分休憩

議場忽ち騷然
衆議院本會議（廿四日午後）
因襲打破建議案委員附託
紫安氏奮然として應酬

【東京電報】朝刊より續く＝次いで星島二郎氏、提案者並に政府に對し二三の質問を試みたるも政友席より『三枚目引込め』など罵聲を吐くものあり質問趣旨議場に徹せず

田子社會局部長　星島君は部落民數を三百萬と言はれたが實際上差別的待遇を受けて居るものは八十三萬と考へる又内務省改善補助費は充分均霑してゐると思ふ

尚林局長より差別的待遇を爲したるものに對する法規は近く法制審議會で審議されるかも知れないと答へ紫安新九郎氏より本案に賛成の意見を述べ度いとて部落民覺醒が極めて自然なる推移であると解き部落民の地位に付き述べ始めるや政友會席より欠伸を爲すものあり大聲にて『簡單』と叫ぶものあり紫安君奮然として『默つて居れ無禮者』と大喝したので野田俊作氏『何が無禮者だ馬鹿野郎』と卓を叩いて連呼し政友席一時に騷ぎ立て紫安氏は『人類の大問題を論じて本案に賛成してゐるのに簡單等と叫ぶ奴は無禮者だ』と應酬して論歩を進めるが議場は漸く倦怠に滿ちて殆ど素見すものなし紫安氏盛んに部落民を連發するので『言葉を謹め』と叫ぶものあり紫安氏長々と辯じて降壇し九名の委員附托この時日程を變更貴族院回附の諸馬法案産業組合中央金庫法案を議題に供し福田千之助氏より兩案の修正に賛意を表し異議なく滿場一致同意に決す次に在支公使館を大使館に昇格する建議案（田淵豐吉氏提出）田淵豐吉氏提案理由を說明し委員附托かくて建議案三十餘件を審議して午後六時五十分散會

海軍不正事件糺彈
憲政會單獨決議案提出

【東京電報】海軍不正事件に對する革新倶樂部の態度は決議案を以てすべしといふにありて共同不可能なるより憲政會は二十四日午後六時單獨にて左の彈劾的決議案を衆議院へ提出した

決議案

軍艦天城に關する不正事件は豫審の結果事實明白となり我海軍部内の言ふに忍びざるものあり之實に帝國々防上の一大缺陷を示すのみならず綱紀紊亂の甚だしきものにして國家の憂患之に過ぎたるは無く國民の危惧措く能はざる所なり當局は須らく反省して其責任に任ずべし右決議す

ア博士聯盟委員辭退

【倫敦二十三日發電】アインスタイン博士は國際聯盟委員を辭した

朝鮮產業宣傳
東上中の聯合商議代表
下院各派代表を招いて
築地精養軒で懇談

【東京電報】朝鮮產業開發の爲め貴衆兩院の諒解を得べく朝鮮聯合商業會議所代表者、香椎源太郎（釜山商業會議所會頭）吉田秀次郎（仁川商業會議所會頭）志岐信太郎（京城商業會議所副會頭）水野巖（釜山商業會議所評議員）の四氏過日來上京各方面に運動中であつたが二十四日午後六時より築地精養軒に於て衆議院各派代表數十名を招待して朝鮮の現狀を訴へて產業開發の爲め大いに諒解に務むる所あつたが同席上香椎釜山會議所會頭は大要左の如き挨拶を爲した

朝鮮の產業を完全に開發する爲めには少なくとも四千萬人以上の人手を要する、然るに現在では千七百萬人にも滿たず而かも最近滿洲日本方面に移入の移住するもの漸次增加し動もすれば產業の頽敗を招來せんとするの傾向あるは誠に遺憾に堪へない、今にして在鮮有志は勿論内地の心あるもの〻思ひを玆に致すなくんば、由々敷しき缺陷を來さんかも計られない、宜しく諸君の御援助を乞ふ

尚同氏代表等は議會終了後貴族院各派代表者を招待して懇談を重ねる豫定であるが更に今後貴衆兩院と朝鮮商業會議所との連絡を計る爲め總督府、殖銀、鮮銀等後援の下に東京に倶樂部を設置するとの事である

辭令（三月廿三日附發令）

稅關鑑定官　鈴木賢治
仁川稅關在勤を命ず

朝鮮水力電氣界の前途（二）
水の開發利用の度足らず

總督府遞信局囑託　本間孝義

北米合衆國の西部諸州は水力の豐富なること同國第一で、著々之を開發利用し尚ほ將來莫大の水力利用を期待されるが、將來は東部諸州の諸工業が西部諸州に寄はるゝまで囑望されてあるが、此諸州の年雨量は朝鮮の半分に過ぎない、且つ渇水及低水量も朝鮮と大差ないのである。故に朝鮮の河川の水量は我が内地の水力國と比較すれば非常に少ないが、歐米の水力國と比較すれば大差ないから程少ないものでないことは明かである。尚ほ貯水池を築造し河水を調節すれば内地河川と大差なき程度の水量を利用さるゝから決して悲觀する必要はないと思ふ。又河川の落差は僅少ではあるが河川の流域變更若しくば堰堤築造により人工的に水力發生の落差を設け得るからである。私は大正四年に朝鮮内各河川を踏査したる結果、朝鮮の水力は河川在來の水量及落差を利用しては到底大きな水力の地點を得難いことを見極め、結局之が解決は流域變更と堰堤式との二方法によるを得策と認め、之を高唱すると共に調査研究を進めつゝ一昨年の春より昨年の春迄約一個年間歐米の水に關する施設物を視察し、各水力國にかける水力電氣の施設を見るに、到る處に堰堤式の水力發電所あるに一驚した。堰堤式による水力發電は比較的安價にして且つ迅速に完成し發電上種々の利點があると、堰堤築造技術の進步發達せるとは吾々の豫想外であつた。それで益々前記二方式を朝鮮水力發生に適用するの有利なるを確信するに至つた」

流域變更とは或る種の地形を利用し或河川を他の流域に導いて高落差を得て水力を發生するもので、假へば金剛山電氣鐵道會社の水力電力の如く、北漢江の水源地方の小河川を通川附近の東海岸に沿ふ小河川に落して高落差を得るが如きものである。

高落差の水力電氣の實例としては北米で最高は南加エヂソン會社の第一發電所で二千百三十呎であるが歐洲では瑞西のフレー附近の水力發電所で五千四百十五呎である。輓近水車製造の技術者著るしく進步し斯の如き高落差に堪ゆるものが製作さるゝのみならず效率よきタービン水車も八百呎以上の高落差のものが作らるゝに至つた。

又堰堤式とは河川の流路中流域狹隘にして且つ基礎地盤良好の位置を選定して堰堤を築造し、一部は貯水に一部は落差に利用して水力を發生する方法である。此の式による水力發電所は合衆國の中部及南部の地方に最も多くあり、特に有名なるはミシシッピー河の中流を横切つて長さ約一里高さ五十三呎の混凝土造堰堤を作り、有効落差三十二呎を利用し二十萬馬力の水力を發生するケオクック堰堤と、ミシシッピー河の支流テネシー河を堰止め長さ約七百三十間高さ約百呎の混凝土造堰堤を作り五十五萬馬力を發生せんとするウイルソン堰堤とである。前者はミシシッピー河電力會社が十年前築造しケオクック市附近及セントルイス市に送電し相當の成績を擧げて居る。

東拓外債
米國交涉進捗

【東京電報】紐育銀行と日本の東洋拓殖會社との間に朝鮮に於ける事業の開發に使用する目的で米國資本二千萬弗を借入れんとする交渉が目下進行中である

黃海道警視　櫻井武吉
黃海道在勤を命ず
郡守　尾野房太郎
慶尙北道金泉郡在勤を命ず
郡守　郡彝哲
全羅北道錦山郡在勤を命ず
郡守　橋爪稱文
慶尙南道慶山郡在勤を命ず

愈々議會を通過した
總督府豫算額
何程減つたか—事項別概要

大正十二年度總督府豫算案は貴衆兩院を通過したるが原案の如く歳出額一億四千五百六十八萬九千七百八十二圓にして前年度に對比すると一千二百四十三萬四千八百三十五圓を減じたる譯となる今玆に前年度比較增減事項別區分の大要を見ると左の如し

法令の施行に伴ふ經費の增減

民事訴訟法改正等の爲め裁判所經費の增加十七萬千八百一圓無盡業令施行の爲め職員の增加を要する經費三萬五千四百五十六圓を增加し民籍法改正の結果地方廳經費十六萬八千三百七十圓移入税撤廢の爲め稅關經費六萬七千三百二十四圓を減少し經常部第三款第四款第八款にて增減した

教育に關する經費の增減

中等教員委託學生の經費、第八中學校第十二高等普通學校新設の經費、官立諸學校の學級增加並に内容充實に伴ふ經費、朝鮮美術展覽會開催の經費等四十一萬四千三百七十二圓群山中學校、滿州光州及び鐵海の各高等女學校並に殖立師範學校の新設に要する經費の補助等六十三萬三千三百二十圓を增加し前年度限り教育補助百七十一萬二千圓を減少し經常第二款第五款及び臨時部第五款に於て增減した

勸業に關する經費の增減

穀類の調査及び獎勵地質調査鑛業米增殖及び國有未墾地の利用等の爲め職員增置の經費十二萬五千五百四圓漁業組合補助作獎勵採種圃設置種牛保護料及び京城紡織株式會社に對する補助の增加等六萬四千二百八十圓を經常部第二款第四款及び臨時部第五款に於て增加した

官業に屬する經費の增減

事業の進展に依り鐵道遞信專賣所等の經費四萬六千百九十九圓專賣局事業費五十二萬四千七百九十三圓を經常部第十款及び第十四款にて增加した

交通及通信に關する經費の增減

郵便電信電話事業の進展等の爲め六十七萬九千四百九圓航路及び私設鐵道補助增加十二萬六千八百四十四圓を經常部第十六款臨時部第五款に於て增減した

繼續費の增減

總督府廳舍新營工事に對し物價騰貴等の爲め二百十三萬八千三百二十圓を追加し既年限を延長し大正十四年度に亘る繼續事業とし其本年度額四十萬圓京城裁判所廳舍新築の必要あり總工費五十萬圓を大正十二年度以降三箇年度に亘る繼續費とし其の本年度額十萬圓美湖川及び漢江に於ける最近水害の狀況に鑑み應急治水工事施行の必要あり總工費八十二萬七千圓を大正十二十三年度の繼續費として其本年度額四十一萬五千圓を臨時部第六款及第七款に於て追加した

營繕及土木に關する經費の增減

大藏省豫科新設に要する營繕費十一萬五千三百四十五圓を臨時部第六款に於て增加した地方費府又は面の經營に係る開城兩城川改修工事費補助二萬圓鳥川改修工事費補助二萬圓大邱市街道路下水工事費補助二萬圓及び下水工事費補助二萬圓方魚津港修築工事費補助三萬圓釜山水道擴張工事費補助二萬圓平成第三期排水工事費補助二萬四千圓新義州市街整理及び防水工事費補助二萬圓春川水道工事費補助一萬四千圓注文津港修築工事費補助二萬五千圓會寧水道工事費補助二萬五千圓及び朝鮮神社表參道設等の爲京城府區改正費二十八萬三千〇四十三圓を臨時部第五款及び第七款に於て增減した

雜件

本年度事業公債の利子手數料等百三十三萬二千六百六十六圓を經常部第十九款に於いて增加した外に既定經費二萬零六百六十一圓を經常部第六款に豫定した

行政整理に依る經費の減少

行政整理に依り經費の節約及各局部の縮少既定繼續事業の繰延新規事業の整理旅費被服費雜費等の節約に依り經常部臨時部の各款を通じ千百六十三萬七千二百七十六圓を減少した

北京政府から論功行賞

北京政府にては大正十年三月長白縣下に於ける馬賊討伐に際し之に關する功勞に對し今回左記の通り論功行賞を發表した（安東縣）

一等文虎章　教育總監　大庭二郎
二等同　朝鮮憲兵司令官　前田昇
同　元咸興旅團長　東正彥
五等同　江原道内務部長　永野清
同　平南警察部長　藤原喜藏
同　陸軍少佐　後藤弘三
同　同大尉　秋庭對補
同　同　長谷川長
六等　咸南道警部　杉谷作彌

久保氏より謝電

過般退職したる京城本町署の久保要藏氏から二十四日本社宛左の電報に接した

御心配掛けたる小生病氣も何分捗しからず途々永引き今日の場合に立ち至りたる處唯今解任の辭令に接し相濟まざる處に就き過般辭任願出で置きたるにつき不取敢御挨拶申上ぐ多年公私共格別御懇情を辱うしたる段感謝に不堪謹みて御禮申上ぐ各位に宜しくお傳へを願ふ東京にて久保要藏

人事消息

▲上田第十九師團長　二十五日朝入城巴城館へ同夜東上の筈
▲吉川兼草氏（電通京城支局長）東上中の處二十四日夜歸城
▲林吉彥中佐（元山守備隊長）病氣の爲め休職願出中の處此の程聽許待命仰付かり郷里熊本に歸臥靜養すべく二十四日市内各方面へ告別挨拶廻りに二十六日午前十時發列車で引揚ぐ（元山）

茶話

朝鮮に於ける私鐵會社の合同は急を要する當面の問題であることは屢説の通りだ▲總督府では會社側の要望其他に考察して之が爲め資本金五千萬圓以上の私鐵會社に對して二千萬圓の社債發行保證をすることを議會に提案したのであつたが▲不幸にして該案は衆議院に於いて遂に削除されたのは實に遺憾であるが今となつては仕方がない▲今後の問題はこれが善後策を講じて是非共實現させたいものである▲其の後の東電は有吉總監は私鐵代表者と種々懇談を遂げたと報じてゐるが▲政府保證の社債發行は否決されたとしても別途の方法で所期の合同を進むるに決した模樣らしい▲即ち鮮銀保證の社債發行とでもなるらしいが合同の進行を見るのは誠に結構なことである▲牛井殿務が旅行中可なり念入りにパスコントロールを研究して來たとの噂が誰云ふとなしに傳へられてゐるが▲先日牛井君の官舍へ誰れ彼れもせない頗る眞面目腐つたひとりの人物が訪ねて來た▲件の人物は某局長からの紹介狀を持參してゐるので何事かと面談に及ぶと▲實は斯く／＼次第で是非一つパスコントロールのと出たので流石の牛井君も少からず面喰つたそうだ

測量家養成講習會錄
東京市京橋區南傳馬町　通信工手學校

プロチン
鎭咳祛痰劑
醫學博士　吉村喜作先生創製
適應症
急（慢）性の呼吸器疾患にして咳嗽喀痰を伴ふ諸症並に百日咳
本劑は服用し易く、効果佳良、副作用絶無にして應用安全、實驗諸家の好評嘖々たり。
吉村博士、内藤學士共著の實驗報告集あり、無代進呈す。
粉末・錠劑及液劑の三種あり。
各地有名藥舖にて販賣す。
東京市日本橋區室町　三共株式會社
出張所　大阪東區道修町　臺北市本町

絶對的破天荒の大英斷
景品附　總ゴム靴の大投賣
大正十一年度式　最も進步せる新式の靴（保證發賣　返金自由自在）
!!一足買へば一足只ヤル!!
世の中不景氣の爲め何れの工場も事業縮少なすの今日小店の方は反對に工場の製產分量の增加を計りし結果自然價格が安くなりますので大奮發を致しまして一足買へば一足は景品として無代進呈するのでありますから五足は五足の代價で十足百足は百足の代價で貳百足返るのであります（但向一ヶ月間）ゴム靴仕入の絶好時季此機會を逸せず希望の方は文書を書いてハガキにて今直ぐに
捨賣値段
特製長靴　一足　[illegible]
特別號　一足　[illegible]
甲號　一足　[illegible]
乙號　一足　[illegible]
九文半以下　一足　[illegible]
小供物　一足　壹圓均一
總ゴム靴製造元　東京日本橋區本石町一ノ十　關谷商店

内科　胃腸病
石川醫院
東京本町一丁目

株式名義書換停止廣告
當會社定款第拾五條ニ依リ來ル三月三十一日ヨリ定時株主總會終了ノ日マデ株式名義書換ヲ停止ス
朝鮮活動寫眞株式會社

送金小切手紛失廣告
金額　金參拾參圓四拾錢也
番號　第十五號
振出年月日　大正十二年一月卅日
受取人　持參人式
仕向店　京城朝鮮銀行
右紛失致シ候ニ付此段及廣告候也
朝鮮銀行鎭南浦支店

福岡產婆養成所改革ノ上得認可改稱
福岡產婆學校
校長　麻生

妻文子儀燒香式執行の際は御多用且つ遠路の處御來駕御香奠御供物被成下御厚意奉拜謝候早速參堂親しく御禮申述可申之處取込中乍略儀此段紙上を以て御禮申上候
三月廿六日
開教院住職　久家慈光
開教院信徒總代
親戚總代
友人總代

李花の輝

秘苑の翠彌々濃かな
昌徳宮の御祝宴
王殿下五十回の御誕辰日に 御一門の貴族を御招待

昌徳宮李王殿下には二十五日を以て五十回の御誕辰を迎へさせられ正午秘苑宙合樓で御內宴を擧げられた午前十一時前後から盛裝した鮮人貴族夫人令孃等目出度く馬車で參集し控室に待つ、正午東行閣入口より向つて右前に王殿下、その右に王妃、左に李埈公妃殿下、左側の食卓に李載完男、朴侯爵以下、右側食卓に李完用侯夫人、官昌府夫人等紳士淑女約百九十餘名居並び食卓が開始され、食宴が終つて朝鮮雅樂、舞踊などの餘興があつて午後三時頃散會した

夜の御宴 總督以下官民を御招待

李王殿下には五十回御誕辰御內宴を催させらるゝ爲め齋藤總督以下六十餘名の官民を御招待せられた、午後七時王殿下を中心に齋藤總督、有吉政務總監、二十師團長食卓を挾んで高等官、銀行重役、釘本商議會頭、學校長等六十餘名出席、燭光眩ゆきところ、殿下の長壽を壽ぎまつつて春の夜は更けた

御祝品獻上 總督總監から

李王御誕辰日に當り齋藤總督は目出たい贈物を、有吉政務總監は紳來のステッキを御祝品として獻上した所殿下には大變お喜びになつた

恩赦發表 四月九日頃

東宮殿下御渡臺に際し臺灣にては四月九日頃數千名の恩赦を發表するに決定した（東京電報）

深夜並木町の慘劇
內地人鮮人二名を斬る
一名は即死一名は重傷 加害者は自宅で縛に就く

たまめかしい絃歌の音も漸く杜絶え引けの拍子木が春雨煙る廓內に淋しく鳴り渡る二十五日午前二時四十分新町遊廓から程遠からぬ並木町六六番地飲食店殷聖完方前の道路上で一名は致命傷とも云ふべき頸動脈が物の見事に切斷されて即死し殘る一名も左腰部に重輕傷を負うた血腥き慘劇が演ぜられた

「生意氣を云ふな」と短刀で突き刺す
一杯機嫌で通り懸つた加害者

加害者 福岡縣宗像郡赤間町當時府內櫻音町二一四番地の三吉田德松方寄在無職窃盜前科一犯 重松善夫（二二）

被害者 府內茶屋町一八五番地九一組挽子金奉學（二六）及び貫鐵洞二五大番地 林三萬（二二）

被害者金奉學、三萬兩名は當日午後十一時半頃仕事を終り本町二丁目を經て戲場を立出で歸途に就き前記飲食店殷聖完方に立寄り土間で飲酒中一面識もなき一名の內地人が來り合せ一緒に飲酒し世間話をする內件の內地人がかの兩名に對ひ『自分は嘗て四三四號の挽子に虐待されたことがある』と愚痴を零したので兩名も氣の毒に思ひ『挽子の中にも善いものもあるが惡い者も居る』と云ふた時數軒先の貸座敷薩摩屋姓女方より一杯機嫌で通り蒐つた加害者善夫は常日頃から賭博常習者で事あれかしと思うて居る矢先東々と殷聖完方は這入り何を感違ひしたものか『生意氣なことを云ふ』と云ふが早いか猛然として懷に呑んで居た刃渡九寸五分の白鞘の短刀を引ぎ抜き奉學の頸動脈にグサと許り突き刺し返す刃で左右肩胛部外數個所に突刺し返す所に突き刺した

血みどろで格鬪
三萬が痛手に屈せず 遊廓の入口で取つ組合ふ

之を見た朋輩の三萬も一時は吃驚仰天したが其場に在り合せた薪を取つて加害者善夫の頭部を毆打したが今度は三萬の左腰骨を突き刺し戶外に逃れた奉學を追跡して滅多突きに突き刺した、如何に條以て堪ゑべき完方より約二間を距る道路上に鮮血に染まつて斃れた一方左腰骨を突き刺された三萬は勇氣を取り直し逃走する善夫を追跡し漸く新町遊廓の入口附近で引捕へ血塗れになつて格鬪し兩名共地上に己つた刹那善夫は三萬の隙に乘じ大和新地方面に引返し脫兎の如く逃走し再び本町筋に行方を晦ました痛手を負ふた三萬は漸く立上り斯くと所轄本町署に急報した

氣紛れな此の兇行
即死者は評判がよかつた

兇行を演じた加害者善夫は當夜櫻井町の活動常設館大正館に友人松尾某を訪ねたが會はれず止むなく杉山某と共に大和新地おでん屋櫻屋に立寄り一杯呷つて立去り杉山と別れて只一人並木町飲食店殷聖完方に登樓し鮮妓金錦花（こ）を揚げて後立去り無み全く氣紛れに此の兇行を敢てしたもので意趣遺恨があつた譯ではない即死した奉學は人望厚れた大酒家ではあるけれど朋輩間の氣受けもよく仕事も熱心にするので重寶がられた男であると

新町交番で假豫審 加害者收監さ

本町署では直に刑事巡査を行ひ非常線を張り犯人の行方を搜索中の處同日午前七時……に立廻つた所を張込中の近藤、石川坂田刑事等の爲に殘なく逮捕された、一方京城地方法院にては太宰豫審判事、山中檢事書記を隨へて現場に急行し詳細に現場の檢證を行ひ新町交番で假豫審廷を開き加害者善夫を取調べた上拘引狀を發し加害者は佐々村、濱兩刑事護送の下に自動車で十時過ぎ西大門監獄に收監された

英國支那艦隊日本へ 廿八日橫濱着

英國支那艦隊司令長官レヴエソン大將は日本訪問の爲めホウキン號外二艦を率ひ二十二日香港を發した二十八日橫濱着の豫定である（東京電報）

大杉榮氏 獨逸へ入る

大杉榮氏は本月二十三日頃獨逸に入國したとの確報あり右は四月獨逸に開かるゝ世界アナーキスト大會參列の爲めであると（東京電報）

大阪に天然痘 患者は朝鮮人

大阪市西區池田町では過日來三名の天然痘患者が發生したので所轄築港署では嚴重警戒中のところ又復二十四日尾頭町九十九番地先朝鮮人金基洙（三）が該病と決定したので府衞生課から係員が出張して附近の住民四千人に種痘を施した傳染蔓延の兆があるので警戒中である（大阪電報）

御裁可になつた 朝鮮の種痘令
一生を三期に分つて施行 實施期は四、五月頃

朝鮮は世界の痘瘡國とも云はるゝ程に痘瘡患者の多い事に於て名高いるが之に對しては今日まで內地の種痘規則によつて一部の者の種痘を行はれて居たぐらいのものであつたので當局としても種痘令の發布は二、三年前からの懸案であつたが今回愈々之を發布する事となり法制局に提出中であつたが三月二十一日附遂に其の御裁可に接したる旨總督府に入電があつた而して其の內容は殆ど內地の種痘法に準據したもので尚內地のものと相違する點を擧ぐれば內地は義務種痘が二期に分たれて居るが朝鮮のものは之が三期に分たれ即ち生後一ケ年以內が第一期、六歲が第二期、十六歲である。更に公種痘を行ふものは內地は丁年に達するまでゝあるが朝鮮は痘瘡患者の多い關係上其年齡を定めて居ないのである。又內地では公種痘は市町村役場で施行して居るが朝鮮では民度の關係其他により指定醫若くは府で之を施行し指定醫又は府の存在なき地は

官憲の手で公種痘を實施

する事となつて居る點之と相違する點であるが要するに義務種痘が內地より一回多く且公種痘に於ても朝鮮は年齡の如何によらず種痘を行はねばならぬと云ふにあるのである而して之が施行期は未だ決定していないが種痘令發布の期日も遠い將來ではあるまいと推測せられて居るので多分四五月頃から實施する運びに至るであらうと云はれて居る

春日和のけふ 釋典の賑ひ
總督も臨場して嚴に執行さる 宛ら繪卷物の様な光景

經學院の春季釋典は廿五日午前九時から經學院大成殿で執り行はれた、殿前に齋場を設け來賓席には丸山警務局長、時實京畿道知事、谷京城府尹其他の顔が見えた、定刻紳著席、純朝鮮式の服をつけた祭官の順序を朗讀するにつけて執の謁べ床しき中に一同敬禮、獻官四拜す、次いで初獻官孔子神位前に詣つて跪座し、登歌で成安の樂を奏し、烈文の舞をする、獻官杯を獻じ大祝神位の前に進んで跪座して祝文を讀み上げる、この間奏樂があつて獻官孔子神前にある顔子、曾子、子思、孟子四聖の神位の前に詣つて香を上げ酌を奠する、次いで亞獻の禮が訖ると、齋藤總督は大きな體軀をフロックに包んで澤渡通譯官を從へ入場、殿前の一段高い所に登り神前に禮拜して椅子についた、次いで終獻、分獻、飮福、添香、四拜、撤籩豆、四拜、望瘞の儀があつて十二時終了

春の釋典
（上）式場の光景正面は總督（下）丸山長ゝはせる禮拜 奏樂

觀測所の地震計が動いた
一時間半に亙る

仁川觀測所の報告に依れば二十四日午後十時五分頃顯著な遠地地震の波動が當所地震計に感動したるが其の初動は十時五分二十秒にして第一動の微動は四分間繼續し又主要動の最大震幅は一五ミリメートルに達し總振動時間は約一時間半に亘つた仁川から震源地の距離は二千四百キロメートル餘の距離を有し震源地帶らかならずと（仁川電報）

橋から墜落

府內授恩洞ト一番地衛生人夫朴甚甫（三五）は二十三日午後十時半頃酒醉して午橋を渡橋中過つて墜落したのを通行人が發見し漸く救助した結果顏面部に擦過傷を負ふたのみで生命には別條なかつた

火藥庫破り頻々
賊は不逞鮮人らしい 警視廳大活動を開始

最近與瀨軍火藥庫に二回に亙り一人の怪漢忍び入り雷管入百個を窃取逃走した又同日千葉縣下の某火藥庫でも無煙火藥四十個を窃取されたが不逞鮮人の所爲らしいと警視廳では大活動中である（東京電報）

いよ〳〵春めく
平年よりも五度位暖い

昨今餘程暖かになつて來た外出するにもオーバーが重苦しく感ずる樣になつた花見は未だのことであるが郊外の散策や山登りには丁度よい加減の肌持ちである昨年は二十三日から四日にかけて大雪であつたが今年は十一度餘も暖かである、測候所の談によれば最早今年は昨年の樣な大雪に見舞はれる樣なことはあるまい、尤も今後とも朝に氷が張つたり霜を結んだりする位のことはあるだらう、昨今の陽氣は高氣壓が本邦の西部にあるから斯う暖かいので平年に比し五度位は暖かい今後も幾らか朝夕寒冷を覺ゆる位の事はあらうが最早大したことはあるまい」

咽喉を突いた上 投身して死ぬ
心中すると書置して家出した娼妓初梅 男は狼狽して逃げ出す

朝鮮所報、情死するとの遺書を認め家出した平壤府西町遊廓東京樓抱娼妓初梅事伊藤トヨは二十五日午前一時情夫と共に同町文明樓裏にさまよひ米たる處を發見されトヨは隱し持つた白鞘短刀で頸部を突いた上大同江に飛び込み男は狼狽して逃亡したトヨが水中より救ひ上げられた時は既に腦出血を起し間もなく絶命した頗る情死騷ぎがあるので警察では大恐慌を來してゐる（平壤特電）

泥棒して放火 支那人の野菜屋

山東省登州府牟平縣生れの無職呂鳳翶（二〇）は昨年九月渡鮮し仁川府に在住したものだが本年三月二十三日午後七時頃仁川府內萬石町野菜賣支那人林某方に忍び入り衣類十點代金十九圓を窃取して放火し逃走の上三十錢を窃取して市中を徘徊中去る二十日本町に於て大田署田巡査に逮捕せられ目下取調中（大田）

鐵道往生

二十三日午後九時十五分水原驛發北行急行列車の進行中水原驛より北方一哩半の地點に於て住所不定の李元昭（三九）が線路に飛び込んで即死を遂げた死體は面に引渡されたが原因は貧苦の結果らしい（水原）

結婚奬勵會 解散を命ぜらる

新義州府老松町の鮮人四五人で結婚奬勵會を組織した會員は毎月三圓宛の會費を納め結婚の場合は三百圓宛を與へると云ふのであるが新義州署に於ては惡影響あるものとして二十三日發起人を呼び出して說諭解散せしめたが右は取ち會員が結婚せねば相當の金を得んと云ふ觀念から一時的結婚をなし總員を得んと云ふ弊害を醸す結果に陷る爲であると

明晚の追加映畫 文部省活動寫眞
米國紐育の大野球戰
米國飛行家の離れ業
公會堂へ

二大映畫を追加した映畫大會

本社後援の文部省推薦映畫大會の初日は雨中にも拘らず非常な盛況を呈したが二日目は『米國野球戰』及び『空中の放水業』の二大映畫を追加し一層の好評を博した、大會は明晚限である

大正館の讀者優待 ます〳〵盛況

本社後援大正館の京日愛讀者優待デーは陽氣が溫かいのと寫眞が新選揮園とも揃つてゐるので每日每夜とも盛況を呈してゐるが優待デーも愈二十七日限となつた、二十八日寫眞替りから國活第三部作品の斯界の注目を集めた滕野一派國活の國活入り最初の優秀寫眞『鷺津村の娘』六卷を映すると

京城名物 文化まんぢう あめ
進物用函及贈答用御用は 京城本町三丁目 電話本局三〇七番 パイン會社製菓部

京劇四の替

京劇曾我廼家五童一行四の替りは一笑劇『自殺の娘』二場二喜劇『投げ羽織』三場三社會劇『ひがみ根性』三場四喜劇『旅行用の妻』二場

天氣豫報（廿五日）

曇一時晴

廿五日正午	一二、七	五四、九
同午前六時	七、八	四六、〇

人蔘湯

二十五日貫鐵洞の韓鐵達と云ふ人の葬儀が行はれたが葬列一里に亙つた▲一般の人としては未だ見た事のない盛葬たるものであつた▲何でも本人は幼少の時から粒々辛苦して金を溜て百萬圓位の資產を造り上げたが其の死際に、自分が死んだら二十五萬圓かけて立派な葬式をしてくれ、と遺言をしたさうだ▲生前一杯の酒に浸つて野垂れ死をする人もあれば、未來の冥福を祈つて金をかけて多數の僧侶を呼んで葬らふ事を願ふものもある▲世はさま〴〵だが皆死んで了へば成佛するのだ▲只今收監されてゐる長橋通りの男殺し犯人の親が井を相手として其の兇行のために衣類寢具が汚れたと云つて損害賠償の訴へを家主なる渡邊之內竹十郎から提起した▲一方では同情する人があるかと思へば一方では家主店子の間柄でありながら訴訟まで起す者が出るテモ世の中はさま〴〵だと亦云ひたくなる

演藝案內

大正館 國活特約 毎日晝夜
○三月廿一日より御披露興行
○新派悲劇『運命の鶴』全二卷
○第六回『百萬弗懸賞』ゴールドキン會社特作 全四卷
○正喜劇 惡戲娘 全五卷 新らしく生まれました國活京都派努力劇 片岡市太郎、市川幡谷、吉富重夫主演
○新派大悲劇 兒雷也 全六卷 足利家に亡ぼされし三好家の忠臣尾形周馬弘行事兒雷也は幼姫を守り育て主家再興の大活劇 正邦宏、鈴木歌子、尾上光子
○新派大悲劇 社會哀話 愛のきづな 全五卷 浅草公園の一隅から拾はれて來た少女お夏は雖な娘であつた父は電氣館の下足番で家を留守にした事から母のお崎はお夏を虐待するは非常なものであつたけれどお夏は育ての恩を忘れず養母の病氣になつた時も地獄さん祈願し看病の結果遂に母の心も改まり幸福な生涯に入る事が出來た

中央館 松竹キネマ特約 電本三〇一四
○當る三月二十二日より特選大映畫
○實寫 飛鳥の如く 一卷
○最新白熱的好評を得たる大連續劇 北國の女王 四卷 絶大の御好評を賜りました北國の女王も愈々解決いたしました。來週からは問題の大映畫カーメルマイアーズ嬢の爆彈兒を上場致します
原作者SEYテーラー氏 アートクラフト會社大映畫
○松竹キネマ蒲田努力作品 惡魔の日 七卷 岩田祐吉、三村千代子、岡本五郎、野寺正一、靜八千代、共演
○純映畫劇 巖頭の碑 全六卷 巖頭に淋しく立てられた一基の石碑それは村の爲兒の爲犧牲に死んだ一人の命な後夫の碑であつた自分の夫を愛が次弟に兒へ移つて行くのを知つた不治の病を知り遂に村人の爲兒に代つて村に禍する漁業船を打破り兒へ讓つたのである

黃金館 松竹キネマ直營 毎日晝夜
○當る三月二十二日より名篇大會
○實寫 俳優生活 五號 一卷
○アロー社大傑作映畫 森林哀話 馬上の勇姿
○大好評の連續大映畫 猛獸と女神 四卷
○パラマウント會社大映畫 解決編に近づき愈々名狼の大活劇 冒險活劇
○大喜劇 禁酒御免 五卷
○純映畫劇 復讐者 全七卷 奇しく重疊せる運命の谷より流る水の波紋は消なんとしては又新しく縈る根なき人の世に擲がる盲目の佳人が幼兒の枕に咀ふ哀切なる守唄を誰か涙なくして聞き得べき
○松竹キネマ株式會社蒲田名畫 諸口十九、酒井米子、英百合子、藤田正一、正邦宏、星野弘喜共演
○ブライアント・ウオシバン氏主演 ベーガレット・トールミス嬢助演

喜樂館 日活直營 京城本町壹丁目 電話五九〇番
○二十二日蓋開 感動的映畫上場
○新劇武勇傳 岩見重太郎 六卷
○ルスローランド主演 連續 呪の毒矢 第七篇 第八篇 二重欺瞞 奇怪なる契約の卷 猛虎の如き勇壯な
○東京向島第一部第二部合同 大谷蓮三、坂田思外
○大悲劇 血に泣く人々 全五卷 天の竹林に囁く猛き大旋風を起す解說は將に……

浪花館 明治町 電話二六〇
○素人淨瑠璃大會 勝利舍 山口糸玉太夫 二十五日午後五時開演入場無料

京城劇場 本町 電五七八
○四回目替り狂言
笑劇 自漫の娘 二場
喜劇 投げ羽織 三場
舊劇 ひがみ根性 三場
社會劇 旅行用の妻 二場

京日案內

看護 婦及見習看護婦至急入用 京城明治町二丁目 電話本局一七三番 佐藤醫院

古本 高價買入 ●御報次第即刻參上仕る可く候 ●電話急壹九五番振替九七〇番 ●京城本町二丁目 群書堂

看護 婦及見習看護婦募集 希望者本人來院あれ 本町二丁目 電話本局二八八〇 山田醫院

ほねつぎ くぢき うちみ 一切の治療御依頼に應ず 京城明治町貳丁目 永田柔道場

法律 事件の相談代書仲介其他人事百般懇切に取扱申候 京城府南大門通二丁目 朝鮮新聞販賣部階上 仁俠館

毛皮 なめし並に仕立 鳥獸剝製標本 皮鳥毛羽買入 萬毛皮鳥類商 京城本町二 電話二〇六五番

金融 官吏教師會社員の方に極秘信用月賦貸 土地家屋擔保低利貸 電話 京城本町四ノ一四〇本能寺通 大和屋質店

讓店 場所本町一丁目三越前 更科分店 御希望の方は 電話本局一四八二 一四七五番へ

讓店 明治町二丁目 表通間口貮間半 營業換ニ付讓ル 姓名在社

賣家 櫻井町二丁目 地六坪住宅二戶構瓦十二坪 大和町二丁目 日本家住宅五坪 日本瓦二階建勝手廊共 右至急賣りたし 賣主姓名在社

洋服 裁縫師五名至急入用 但し本人來店の事 龍山三角地 吉川洋服店

讓る 內職的素人下宿屋 御希望の方は左記に御來談下さい 龍山榮町三四 藤森

病院 讓る 京城府郊外 居拔の儘至急讓りたし 希望者に 電話本局一九四四番 永樂醫院へ

株券 金融 自九時至五時 日步安く簡單御便宜に取扱申上候 照會は次第に御返信 明治町一ノ五九 電話本局二四〇番 竹下

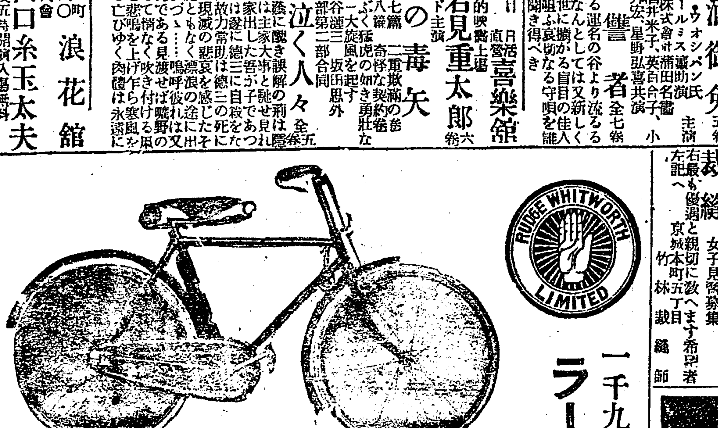
裁縫 女子見習募集 右最も優遇と親切に教へます希望者は左記へ 京城本町五丁目 竹林裁縫師

治淋新藥
ゴノサルビン
優秀卓越なる 白檀油代用劑
白檀油ニ化學的集成を等ふするゴノサルビンは既に數年間治療界に於てその効力を確認せられ左の特長を有す
一、持久するも白檀油の如く胃障害腎臟刺戟等の副作用を惹起せず
一、純國產品にして價格低廉なり
原液 四五〇瓦、二二五瓦、二二五瓦 膠球 一〇〇球 一〇〇球 五〇球
文献本社より郵呈す
大阪道修町 製造發賣元 三友製藥合名會社
大阪道修町 一手販賣店 武田長兵衞商店
東京本店 關東代理店 小西新兵衞商店

（兒童保健相談所）
イケタ小兒內科病院
京城三越吳服店前へ入る南山町一丁目 電話（病室二三四四番）（自宅參〇四番） 院長 池田季毅

移轉 市電・信濃橋又は太郎助橋下車
今般下記の所へ移轉仕候

運動服裝 （新調カタログ送呈）
運動服裝 絨毛製品卸
大谷義商店
大阪西區靱上通二丁目 電話土佐堀長二・〇九六・〇九七


RUDGE WHITWORTH LIMITED
一千九百二十三年式
ラーヂ自轉車購買會 會員募集
堅牢輕快なる
ラーヂ自轉車を現金賣値段より安く會員に提供致します再び來らざる此の機を逸せず速に御申込を願上げます電話又はハガキにて申込下さい直に規則書差上げます

ラーヂ自轉車景品付賣出
數量 五萬臺
景品 五十萬圓
（一本の空籤なし）一臺ニ付景品券一枚

京城府南大門通三丁目 ツヅキ商會 電話本局二三一〇番

ラーヂ自轉車 京城代理店 自轉車商
京城本町三丁目 ツヅキ商會本町支店 電話三五七三番

……人はすべて知事の任命したる者たるを要する由だが、之が有資格者は各府郡に於て本府未だに調査終了の……國語を解するものとし滿鐵での候補……者は漁……者で十入い製造販賣人で九人合計十九名であると

……講師は渡邊內務部長、丹羽理事官其他前田、加藤、原口、高木各屬官であつて講習科目は、面の指導監督、……

釜山學組豫算

【釜山】釜山學校組合大正十二年度豫算は既報の如く委員會に附託し審議を重ねたる結果により二十三日午後二時から府廳樓上會議室で本會議を開催し小西新府尹より希望を陳べたるに對し委員長藤田整正氏一同を代表して挨拶を陳べ次いで委員會の結果を報告し審議に入りたるが委員會に於ける重なる修正は、高等女學校新設に關する歲入歲出、高等女學校授業料增徵の件等を削除せるに止まり其他は理事者側より極力節約の維持に努めたるも遂に議論一致を以て修正案を可決し結局左の如く歲入歲出に對し一萬八千三百七十六圓を削減し午後五時散會した

	原案	修正案
歲入經常部	[illegible]	[illegible]
同臨時部	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]
歲出經常部	[illegible]	[illegible]
同臨時部	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

大邱府協議會

【大邱】大正十二年度歲入出豫算を主題として開會する大邱府協議會は既報の如く二十三日午前十一時より開會協議員十六名の內三名は缺員、殘十三名の內出席者は八名松井府尹議長席に就き諮問第一號大正十一年度歲入出豫算追加更正の件を附議し讀會省略原案可決確定次に第二號大正六年大邱府條例中一部改正の件を附議し讀會省略にて原案可決確定次に諮問第四號大邱府市場使用料改正の件を附議し讀會省略原案可決、休憩、午後二時再び開會松井府尹議長席に就き諮問第三號大正十二年度歲入出豫算の件を附議するに先ち松井議長は豫算編成の大要に就き說明をなしたり

……事議案）は熟議調査の上更に上されたき旨述ぶるや理事者は無據之を承諾し遂に原案撤回に至らんとしたるも寺本議員の注意に據り先づ一讀會繼續と云ふ名目の下に二十三日は閉會したり

郡學校費豫算

【晉州】晉州郡學校費十二年度歲入出は前年度に比し一萬三千七百六十九圓を減少したるは賦金使用料財產收入繰越に於て二千百八十七圓を增收入に於て一萬五千九百五十六圓を減じたるに依る十二年度歲入出は左の通りである歲入豫算高歲出六萬二千百二十九圓經常部二萬四千九百五十六圓臨時部

大田學組會議

【大田】大田學校組合にては二十七日より組合會を開き大正十二年度の豫算其他を議する事になつて居るが本年度の豫算總額は五萬五千八百四十二圓を計上してある之れを前年度に比すれば五萬五千四百十四圓を減じて居るが前年度は高等女學校々舍の新築があり十萬圓以上の豫算を要したのである。而して一戶當り組合費戶別割は卅圓五十錢であると

咸興學組豫算

【咸興】咸興學校組合歲入出豫算會は二十三日午前十時より咸興面事務所に於て開催十名の議員中一名缺員九名の內大道重太郎小澤永治の兩氏旅行缺席計七名の出席の下に開會歲入經常部の審議に入るや各議員中にも金山氏の如きは本案は編成の骨子に於ても即ち其基礎に於て誤れる點無きやを豫想せらるゝ從つて本議案は審議の價値無しとの意見も出で各種曲折の結果四番長谷……

平壤學組會議

【平壤】平壤學校組合評議會は既報の如く二十三日午前十一時府廳會議室に於いて開會出席評議員十名、先づ府尹の新任挨拶あり、管理者としての希望を述べて議事に入り左の案件を附議したが議案第六號府職の件、第七號地方費補助申請の件、第八號大正十一年度……の件は讀會省略原案可決を見たが第四號議案、學校組合金庫取扱の件に關しては議員間に反對者もあつたが結局銀行の信用に依る事とて從前通り大同銀行に可決第五議案大正十二年度平壤學校組合歲入出豫算に就ては山下內務課長より說明あり第一讀會に於て二三の質疑應答ありたる後休會更に來る協議會を開き第二三次會は追つて來月初旬開催の事に申合せて一時四十分散會した、十二年度豫算は歲入金十三萬四千五十六圓經常部金三萬三千五百九十六圓臨時部合計十六萬四千五十二圓歲出金十三萬八千八百五十二圓經常部金二萬五千二百圓臨時部合計十六萬四千五十二圓である。

南浦府協議會

【鎭南浦】府協議會は廿四日午後二時府廳樓上に於いて開會、出席協議員數は內地人六名鮮人一名にて議場些か寂寞の感あり振鈴に依り一同所定の議席に著くや澤永議長徐ろに開會を宣し大正十二年度鎭南浦府歲入出豫算案及府收入證紙條例改正の件、十二年度府貸起債の件、府囑託員及傭人給料規程中改正の件、旅費支給條例中改正の件、府立病院移管に關し朝鮮總督府に上申の件等を附議すべしと述べ著席伊丹五番議案の審議に先立つて一言したしと前提し前任府尹時代に於ける運送契約に就き質疑し府尹の辯明を求むれば府係は之に依り種々法律的辯明を試むるや伊丹五番は稍威丈高となり府尹の辯明は單に前任者の辯護に過ぎず余は府協議員として飽迄も府尹の誠意ある辯明を求む。夫れは順序として議案審議に先立ち本問題を動議としたければ暫らく休憩し協議會を開きたしと述べ原田六番之れに贊し議長は暫らく休憩を宣し協議會に移る（第一回）尙十二年度歲入出豫算總額は歲入經常部十五萬六千六百四十四圓臨時部十五萬六千八百三十八圓歲出經常部十二萬七千八百圓臨時部十八萬二千八百八十圓にして前年度に比し九萬三百二十三圓の減額を示して居る

全鮮辯護士大會
大邱法院內に於て

【大邱】大邱覆審同地方法院の落成式を機とし去る二十二日午前十時より同法院辯護士控室に於いて全鮮辯護士大會を開きたり先づ全會一致を以て堀池常作氏を座長に推し議事に入り

第一、司法に關する法令の制定及び其の改廢に就て各地辯護士會に諮問し其の意見を徵する件

第二、官廳の執務並に其の設備を一層民衆本位に改むるの件

第三、行政訴願法並に行政訴訟法を速かに朝鮮に實施するの件

第四、刑事法廷に於ける檢事並に辯護士座席變更の件

第五、辯護士懲戒裁判の制を設くる事

第六、民事令第二十八條廢止の件を可決々定し次に

第七、日本辯護士法を速かに朝鮮に實施するの件

第八、朝鮮に借地法並に借家法を施行するの件

第九、朝鮮に於ける特種辯護士試驗廢止の件

第十、朝鮮に於ける判檢事特別任用試驗廢止の件

は來る五月京城に於て開會する第二回辯護士大會まで保留する事を協議實行委員として木尾虎之助、朝倉外茂鐵、尹泰榮、岩本三志の四氏を擧げて散會せり當日出席の辯護士氏名は左の如し

木尾虎之助、朝倉外茂鐵、榎本隆明、濱田虎熊、李升雨、尹泰榮以上京城▲窪田梧樓、佐々木清綱（以上釜山）▲坂口喜助（光州）▲山田彥光、久永麟一（以上全州）▲李鍾雨（晉州）▲岸本鐵次郎、岩元三志、堀池常作、高橋四郎、鮎川元恭、淸水孫太郎、武尾禎藏、外馬琨雋、福田盤之助、張千煥、朴準兆、金宜均、梁大馴、文錫圭、朴海克、鄭宜煥、全內夏、姜仁中、金完燮

の豫定なれば府民は同日午後七時より玉屋に於て觀迎會を催す由である（鎭南浦）

驅逐艦入港

【鎭海】谷風、江風の二隻は二十六日入港……

新義州府協議會

【新義州】二十六日午後一時から新義州府では府廳樓上に於て府協議會開催と決定したが右附議事項は左の七件である

一、電話加入區域外電話線路を府に寄附せむとする件
二、工事請負勞力の供給及物件の賣買貸借に關する條例中改正の件
三、大正十二年度府金庫事務取扱銀行指定並契約書案の件
四、新義州停車場前及道廳前道路開設に關する件
五、府有土地賣却の件
六、大正十二年度府稅賦課率及賦課額決定の件
七、大正十二年度府歲入出豫算決定の件

安東新市街移管 當分保留

【安東縣】昨年來より提唱されつゝありし安東新市街移管問題は爾來滿鐵當事者並に安東市民側に於ても種々其の利害得失に就き論議されつゝあるは既報の通りなるが、去る二十三日東京に於ける滿鐵の重役會議の結果としては本問題は尙ほ幾多研究の餘地あるを以て當分保留すべき意嚮の由なるが、安東市民としても移管後に於ける施政の奈何に就ては更に一段の研究を要する今日勢ひ滿鐵側に於て具體的交涉を開始する時期相當の時日を要す可きは勿論であつて尙幾多迂餘曲折は繰返さるゝであらうと觀測さる

水原の事業發展

【水原】水原電氣株式會社は大正二年の創立に係り原動機も僅六十五馬力四十キロの小規模なりしが爾來近藤虎之助氏專務社長となり鋭意經營し來り目下電燈數三千四五百燈に上り全く餘力なきに致りたる爲昨年來擴張計畫を急ぎ居りしが漸く過般擴張工事に着手し目下進捗中なるが本年六月には竣工の豫定なりと新規の原動機は百六十五馬力百十キロにして從前の約三倍となる發電所の建造り七十餘坪も近日竣工の筈なるが從つて之れが竣工の曉は……機械に晝間動力供給の見込を以て調査中の由なるが一般工業者側は此の點……を設立すべく夫々議を進めて居る模樣なれば水原の永き蟄龍の夢も覺めて面目を一新する事ならん

面書記慰祭

……（平壤）……定である（大田）

商工昇格確實

【鎭南浦】商工學校昇格案に對する道當局の最後の決意を慫慂す可く既報の如く崎川滋其他七氏が陳情委員として去る二十三日上道したるは既報の如くであつて各委員は米田知事其他各部長を歷訪し亘細陳情する所あり、道當局に於ても既に前任者の計劃發表にして目下情實に已むを得ざるものとして委員の希望を容るゝ事となつたが何分當初の計劃豫算案には多少杜撰の點ありし爲め更に詳細に審査審議し昇格せしむる方針であると向入學希望者には四月四日より入學試驗を執行する由である

金泉分會表彰式

【金泉】在鄕軍人分會は設立以來の成績良好に依り此程本部會長川村元帥より表彰されたるを以て二十二日之が表彰式を擧行する事となり大邱支部より支部長代理として小野少佐來泉し午前中野外演習午後一時より金泉座に於て表彰式を擧行し來賓多數列席の上小野支部長より模範分會表彰狀並に模範分會員稻井菊次郎、鈴木禎作の兩氏の表彰狀を授與し支部長の訓示來賓の祝辭分會長の答辭ありて閉式それより春季總會に移り役員選擧其他を終り祝賀會に移り種々の餘興あり午後五時閉會した

黃海警官異動

【海州】既報黃海道警察部では二十三日愈々道內各警察官の大異動を斷行した其の結果は左の通りである

甕津署長道警部 木戶忠嚴
補松末署長 長淵署長同 小山一二
補金川署長 松末署長同 上野豐積
補信川署長 安岳署長同 植木金次郎
補載寧署長 載寧署長同 佐藤英太郎
補兼二浦署長 黃州署長同 山田文二郎
補安岳署長 保安課長同 岡信一
補沙里院署長 衛生課勤務同 川村耀次郎
補黃州署長 新溪署長同 谷村吉次郎
補瑞興署長 海州署勤務同 中村美賀
補長淵署長 警部補 芦立安正
任道警部補延白署長 警部補 及川豐見
任道警部補遂安署長 警部補 須田勇雄
任道警部補新溪署長 金川署長道警部 片山元造
補甕津署長 道警視 金永燦
補保安課長 兼二浦署長道警部 吉田淵
補高等警察課長 沙里院署長道警部 櫻井武吉
保安課勤務を命す 警務課勤務警部補 土岐博賀
任道警部 高等警察課兼海州署勤務ヲ命ス 衛生課勤務警部補 棚田重克
任道警部衛生課勤務を命す

修養共生會生る

【馬山】馬山學友會の主催で馬山に學友會と云ふ一團が生れた年次は不明であるが馬山の小學校出身者を以て組織せられ其主たる目的は相互の和信、精神の修養である。ところが昨今青年の氣風が頗る阻喪し年を逐ふて墮落柔弱の傾向あるを遺憾とし今回此の如き短期間の修養團を組織し二十四日より小學校講堂に於て二十九日迄五日間講演を積むことになつたが其實行の方法は參加會員は一圓の會費を醵出し、薪炭、茶碗二個皿一個を持參し小供……自炊し、會員は十五、六歲より五十歲以下何人にても入會を許ふるのである、五日間の實行事項は午前五時起床六時まで身心の鍛鍊、六時より讀經、七時より座談、七時半より味噌汁漬物二菜の朝食を採り八時から各自の職業に向つて純なる流汗主義の奉公的精神を捧げ午後八時より九時までを其日一日の業務の整理時間となし九時より座談九時半から五分間靜座終つて消燈就床する斯の如くにして身心鍛鍊流汗精神の實を擧げむとするのであると

看護助產婦卒業式

【大邱】大邱慈惠醫院內に於て……

金泉に演武場設立

【金泉】金泉に演武場を設置せん事は多年の懸案であつたが財界不況の爲め今日迄立消えとなつて居たが既に各地共それ相當の設備完成しあり金泉としても又其必要切實を感じあつたが愈々設立する事に略決定し警察署分會員等に於いて寄附金募集中であるが官民の寄附金を以て南山町郡廳前を建築の豫定地とし間口五間奧行き十間の平家建とし演武の外各種の集合所に充當し公會堂建設前の用途にも利用する筈で建築費は約八千圓內外であると

鎭海神社拜殿落成

【鎭海】客年來より新築建立中の鎭海神社拜殿は愈々竣功二十五日午後一時同境內に於て落成式を執行同二時半餅撒行事新殿は三時莊嚴なる式を執行した

文廟春季釋奠

大田郡鎭岑の懷德面に於ける文廟春季祭典は二十五日擧行した大田郡よりは參列の爲め伊藤郡守は鎭岑に、酒井庶務課長は懷德に出張した（大田）

鎭海の皇民會講演

【鎭海】皇民會長大迫大將は釜山著後病氣靜養中小林文學士も亦病氣の爲め來鎭を中止した一行中の理事宮岡海軍中將及び高島平三郎の二氏二十二日午後三時五十分來鎭驛へ出迎ひの諸氏へ一々挨拶を了り上陸再び小蒸汽にて齋藤附近を觀察それより行殿へ著午後四時二十分當地の重鎭松尾重信氏宅に投宿し同日午後七時より鎭海公立尋常高等小學校內に於て宮岡中將高島氏の講演ありたり

皇民會講演會

皇民會講師宮岡中將及阪本、高島氏一行は二十二日鎭海に於ける講演を終り二十三日午後二時半海軍汽艇にて馬山著多數馬山有志の出迎へを受け直に馬山神社に參拜午後三時より小學校講堂に於て學校生徒の爲め午後七時より一般の爲講演をなし廿四日午前八時五十分發列車にて大田に向へり（馬山）

記者團安東視察

今回安取市場及當地經濟狀態視察の爲め來安せる齋藤（朝新）別府（日々）鹽谷（京日）田山（朝每）金（東亞）の京城經濟記者團一行は二十四日午前十時半著安、伊藤京日支局長の案內にて安東ホテルに入り少憩の後、安東取引所市場及市內各所を視察し午後六時より安信南社の招宴に臨んだが主催側の粹を利かせたる委員連との顏合せに一段の歡興を添へ主客胸襟を開き談笑數刻十時解散したが京城側一行は同夜直ちに五龍背に至り一泊二十五日午后歸城した（安東）

內藤氏逝去

大田電氣株式會社專務取締役內藤雄氏は電氣事業其他の用務を帶び內地に旅行中病を得郷里岐阜縣本巢郡北島村字市場なる生家にて療養中なりしが二十二日逝去した旨報があつた、享年五十六才、氏は曩に大田面長、管理者、學校組合、議員との職に在りて公共事業に努拜し大田今日の進展を見るに至つたのも同氏の與つて大に効ありしものである……

より何等の通知もないので決定せないが近く打合せの上發表する事になつて居る（大田）

地方集會

▲稻葉氏惜別宴（安東縣） 遞信局東營理事官に昇任せる當地郵便局長稻葉正太郎氏は今回一身上の都合にて退職歸國の筈なるが當地有志發起となり同氏の爲め廿五日午後六時よりスミレに於て惜別宴を催したが來會者多數盛會であつた

▲藤原部長招宴（平壤） 藤原平南道警察部長は二十六日午後六時府內七星館に於て在平新聞記者約二十名を招待し新任披露を兼ね晩餐會を開催す

▲米田知事披露宴（平壤） 米田新平安南道知事は渡邊內務藤原警察二部長を隨へ二十七日鎭南浦に出張同夜朝日館に於て披露宴を催す筈

▲山中氏送別宴（安東縣） 當地滿鐵地方事務所長山中業雄氏は今回本社地方課勤務となり同時に歐米視察を命ぜられ不日出發の筈なるが當地官民有志間にては同氏が滿四ケ年の長日月に於ける公私に盡瘁せる功勞を深く記念するため二十七日午後六時よりすみれに於て送別の宴を開く筈

▲松崎久氏送別會（平壤） 平壤銀行創設以來大同銀行をして今日の大ならしめたる同行支配人松崎久氏は今回病氣の爲め休職大阪に轉地療養に決し附銀行團は二十三日夜玉屋に送別會を開いた同氏は二十五日夜別府を經て大阪へ

▲飯尾知事歡迎宴會（海州） 二十三日午後六時半より福乃家に開催會するもの官民約七十名配膳終れば橋本法院長や鮮發起人を代表して張宴の趣旨を述べ之に對し飯尾知事の謝辭演說あり校醫十數名酒間を周旋し談笑湧くが如く主客歡を盡し退散したのは午後十一時頃であつた

▲成田局長招宴（平壤） 平壤郵便局長成田勝虎氏は二十三日午後六時より柳屋ホテルに於て局長會議出席各局長及び在鄉新聞通信記者五十餘名を招し新任披露を兼ね晩餐會を催し同十時盛會裡に散會した

地方人事

▲和田知事夫人 二十一日著（晉州）▲中島巖氏（醫務局司令警部）二十一日附總督府道警視高等官六等（大邱）▲大久保福吉氏（盈德警察署長）任總督府道警視高等官七等（大邱）▲則武定吉氏（慶北漆谷郡々屬）任郡守高等官七等慶山在勤（大邱）▲山口重男氏（金泉郡々屬）任郡守敍高等官七等金泉郡在勤（大邱）▲本田文藏氏（慶州郡々屬）總督府任郡守敍高等官七等全南長城郡を勤（大邱）▲生田平北知事 二十三日鈴木新義州署長の案內にて來安日支各官公衙を歷訪の上新任の挨拶をなし即日新義州綠屋旅館に投宿（安東）▲守部新義州港務醫官 出張中の處二十三日歸任（新義州）▲橫田五郎氏（總督府法務局長）二十四日午後特急にて歸任（大邱）▲渡邊暢氏（京城高等法院長）二十三日午後特急にて歸任（大邱）▲原正鼎氏（本府民事課長）同上▲深澤新一郎氏（同刑事課長）同上▲中村竹藏氏（京城高等法院檢事長）同上▲澤田豐丈氏（慶北知事）二十四日慶州視察（同上）齋藤總督出迎の爲め二十三日午後釜山出張（大邱）▲松井信助氏（大邱府尹）同上▲渡邊東治郎氏（前平北學務課長）二十四日夜汽車で歸省見送り官民有志多數（新義州）▲太田逵世氏（運山獨立守備第四大隊長）二十四日歸任（新義州）國境視察で來新▲安齋咸南警務課上席警部 二十四日歸任（新義州）▲荒川六平氏（安東民團議長）撫順の用務を帶び今回大佐に昇進德島聯隊區司令官轉補挨拶の爲め二十三日來安各方面歷訪（安東縣）▲荒川六平氏（安東民團議長）兵間題にて上京中の所二十日歸安（安東縣）▲岡本正夫氏（釜山地方法院長）大邱へ出張中二十四日歸院（釜山）▲杉村逸樓氏（釜山地方法院檢事長）同上▲志賀潔博士 二十七日來壤の豫定（平壤）▲淸水常吉氏（東拓平壤支店長）二十日義州へ（平壤）▲淸川平南農務課長 二十三日夜令弟承眠の報に接し急遽大阪へ（平壤）▲本間德雄氏（大同江出張所長）二十……

通俗太閤記

第六十八回

松林伯知講演

加藤由太郎速記

藤『先づ入つて來た東の木戶の方へ一同が引いて來る』乙『なるほど』藤『其處で引いて來たらば斯ういふ工合に十五人宛右左に殘る、左の十五人は槍を大上段に被る、右の十五人は槍を橫に取る』乙『へエ、併し槍を振被るの、橫に取るのと云ふのは……

しいぢやアありませんか』藤『夫れが木下流の槍術といふのだ』乙『なるほど是は不思議だ、夫れから何ういたします』藤『夫れから餘りの二十人は槍を膝に取つてズーッと折敷く二列に殘ぶ』甲『へエ、是でお組頭宜しいので』藤『夫れで好い、其處で一同に言ひ聞かして置くが、上島主水の方は九尺柄の短槍だに依つて、腹へ持たして撫上げて、手許へ突込んで來るのだ』乙『なるほど』藤『前に殘んだ二十人は三回突き合せをするなるほど』藤『其內に采配を振つたら、一同身を翻して逃げるのだ』甲『卑怯ぢやアございませんか』藤『夫れが計略ぢや』甲『へエ、計略で逃げて行くなら宜しうございます』藤『皆んなが槍を後へ斯うやつて逃げ出すのだが、ないやうに引摺つて、チャンと其の用意をして逃げる』甲『へエなるほど……嫡才はございませんな』藤『固よりだ、敵は勝ちに乘じて追ひかける、處で左側の十五人の前迄敵が乘こんで來たら討てと云ふ藤吉郎の下知と共に敵を無二無三に打据える』甲『へエ、是りやア面白うございますな』藤『敵の頭でも腕でもドシ〳〵毆る、……しうございます』藤『敵の足を掃へと……

鬮を打つ掛ふ』乙『夫りやア面白うございますな、敵の向ふ鬮を打つ掛ふんで、宜しうございます』丙『此方の二十人は逃げるばかりぢやア詰りませんが、何か役はありませんか』藤『是からだ、二十人引返せと云ふ下知があつたら一同引返して來る、其方達が槍を使ふには何でも先方の陰……面白い、幾ら上島方が强情でも打つと叩くと突くの三拍子ならば落花微塵だ』藤『一同充分にやつて呉れ』一同『委細承知いたしました』藤『其處で其方達に言ひ聞かして置くが、總て實が付かんと張合がなくていかん』甲『成る程』藤『敵の槍を一本分捕をいたせば五十疋遣はす』甲『敵の槍一本が五十疋、へエ……』藤『敵を一人生捕にいたせば二百疋遣はす』甲『槍が五十疋で生捕が二百疋、槍付き生捕か二百五十疋、旨く考へたな、大膽ですな』藤『其上に大功名があるぞ』甲『其上の大功名とは』藤『敵の大將上島主水を生捕にいたす時には永錢五貫褒美を遣はす』甲『夫りやア有難い、主水を生捕れば五貫文』藤『ウム』……是れを含んで置いて與れゝば最早恐れる所はない、猶助、猶兵衛酒の支度は何うだ、肴の支度は出來て居るか、一同今日が飲み納めだ、充分飲んで呉れ』甲『有難う存じます』又酒宴、斯くの如く木下組は支度をいたし、愈々翌六日になると上島主水木下藤吉郎より稽古の整いた旨をお屆けをする、北のお馬場には上總介信長がお著座になり、家中の方々一同拜見をする、東の木戶より上島主水、木下方は西の木戶より木下藤吉郎、……陣羽織に同じ陣笠、五十人宛の同勢、片方は三間の長槍、片方は九尺の短槍、宛然ら……吉方は猛將神の寄合ひ、上島方は昆羅龍りが集合したやうだ、一番太鼓、是れは福富平左衛門が激しく打込みます、太鼓の音と共に東西の木戶を押し開き、西方の上島方は別段に列伍を正す樣子もなく、中には槍を擔ぐ者もあれば、挑げる者もある、不規則にてゾロ〳〵這入つて來る。

流寒風熱に一番よくきく
複方ピラミドン
販賣店各地藥店にあり
京城府龍山元町二ノ八八
本舖 林藥房

毛布と小供洋服は（京城明治町三丁目）
ちぬや毛織物部
（電話一五九〇振替一五三七）

皮膚科
（診察夜九時迄）皮膚病 花柳病（入院隨意）
京城明治町一丁目 佐藤醫院 電話一壹七參

紹介

◇ラーヂ講習會の盛況 京城南大門通三丁目ツツキ商會主催としてラーヂ號自轉車購買會々員募集中の處現金賣値段より安く提供する爲め意外の人氣にて既に去る十九日京城食堂に於て第二十二回及去る二十三日同所に於て第二十三回の發會式開催引續目下第二十四回の會員を募集中である希望者は早く申込む方が利益であらう

今年の卒業生〔十〕

◇師範學校第二部女子演習科 ▲磯部ミヤ▲稻益靜子▲石丸よし▲石丸ツジ▲西原きみ▲西依タカヨ▲堀もり子▲戶川リウ▲戶村てい▲千々和ノブ▲加藤タツヱ▲上坪キクノ▲神藤カク▲橫井玉枝▲吉崎サツキ▲中光ムツコ▲氏家幸▲浦邉光子▲野々市芳▲大瀨セツノ▲大田ミネ▲倉島敏惠▲柳原七四▲馬來梅子▲瀨ナカ二間瀨菊江▲後藤ヨシ子▲阿部シヅ惠▲多村照子▲鷲足トキヱ▲島田アツヱ▲須子萬子▲磊田ヤツヱ

將棋新手合（三）

於大連市大山通岡崎森之助氏宅

香落番 ▲四段 菅野友次郎（東京） ▲三段 來代吉三郎（高知）

（圖は前號指了迄の局面）

▲持駒 來代氏 步

△三三角（ヘ）▲二一馬△九九角ナル▲八八銀△九八馬▲四六桂△四四飛▲五四桂△同步▲四五步△同飛▲五四馬△八五飛▲九九銀打△同馬（ト）▲同銀△九五步▲八八銀（以下次號）

溝呂木七段講評

△（ヘ）三三角打ちは五手先に四六桂と打たる手順となる故大に悪し此處三六步と突き捨てる方大に優れり

△（ト）同馬と指すより此處八七飛同銀九九馬と指す方先手となつて面白し

三月廿七日

舊曆二月十一日 火曜 ▲六白▲暗劍戊亥 ▲己亥▲赤口▲成▲尾宿

▼六白▲動もすると物事の喰ひ違ひ易き日命談は凶西と北と南が吉

▼七赤▲出世の端緒を得る日實直にして進んで有利西と北と南が吉

▼八白▲諸事順調にして福分に富む日求職緣談大吉艮と北と丙が吉

▼九紫▲調子に乘り過ぎると不覺をとる堅く內に守つて安全東が吉

▼一白▲順調の日願ひ事は成就する行商移轉開業等亦吉東と坤が吉

▼二黑▲前後に氣を配つて進む時は存外に成功するの日艮と西が吉

▼三碧▲不用意にして思はぬ失敗を招く世話事禁物南と東と丙が吉

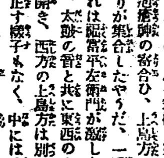
▼四綠▲無駄骨を折る日新しき計畫は不利辛抱が肝腎南と艮と坤が吉

▼五黃▲勇氣に充ち大いに敵を逃く日入學就職緣談等吉艮と北と西が吉

關釜連絡船

廿六日 晝、新羅丸 夕、景福丸
廿七日 晝、高麗丸 夕、昌慶丸

支店長招聘
市郡方に限る……
金貳百圓 手當金五拾圓 金七拾圓
東京市芝區新堀町……
三澤業務所外務課


男女 愛の手紙
●應用自在
戀歌集
●新形 特價壹圓
東京市麴町區平河町
文化書院

最上醬油
ウリーコッキ
日本醬油株式會社

りん病新藥
ゴンチン

●戀愛學大家 紀室公民先生新著（四六判洋裝美本）
男女 情慾 四十八手の研究
見よ！前代未聞の粹珍解說を!!

◆稀代の珍書
特價
好文社

異國味豊
歸朝者なら在外當時を偲ぶべく 外人なら故國を懷ふべく 吾々なら眞に正しく洋食の吟味に導かるべき ウオスターシアーソース！
★星印ソース
株式會社 祭原商店 大阪市東區安土町四丁目

赤玉白葡萄酒
白葡萄酒として世界の市場に最も優良を稱せらるゝムスカトワイン即ち赤玉白葡萄酒です
代理店 祭原商店 大阪市東區安土町四丁目

★22

賜天覽
皇后陛下台覽
皇太子殿下台覽

國士の聲（其一）

世界の大戰終熄以來、不穩の思想は、濁流の氾濫せるが如き勢ひを以て來襲した。歐米心醉の曲學者流が、先づ之に共鳴し、社會の木鐸を以て亦之に雷同するの徒あり、果ては一般の民衆も、之れに感染して勢ひの赴く所決河の力を以て、崇美なる我國粹の總てを、壟斷せんとし、思想の惡化は終に其極に達した。

斯時に際し、偶ま憂世憂國の士ありて、之れを匡救せんとすれば、徒に時勢後れである、時代錯誤であると嘲侮し、國粹の精華を遺棄せんとする者、日に多きを加ふるに至つた。斯る有樣では、國家の將來は、果して何れの時、何人に依つて行はれるであらう。

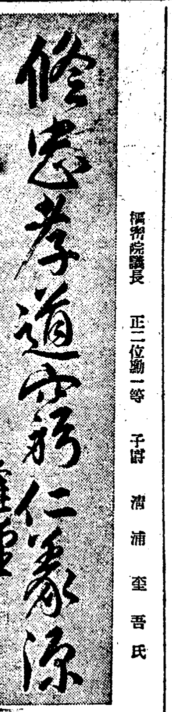
予輩より不敏なりと雖も、忠君愛國の念に於ては、敢て人後に落ざるものである。茲に於てか慨然として自ら揣らず、數年屢々思想問題に關する卑見を、各新聞紙に公表し、大方識者の贊同を得て、『祖先崇拜と國民の聲』なる拙著を上梓し、同志者に頒布した。

次で第二回の事業として、思想問題に關する、詩歌書畫の上梓を企劃したところ、天下の名門大家より、續々金什玉篇を寄贈して、大に本擧を贊せられた。依つて之れを各頁の表面に印刷し、其裏面には、忠臣孝子義人烈婦等の事蹟を繪畫に現し、之れに說明を加へて、風敎上の津筏となさんことを期し、『國士の聲』と題し、一帙に裝頓したのである。其初版成りたるは實に大正十一年九月のことであつた。そこで先之を、中央諸官廳、貴衆兩院議員、各地方廳、裁判所、郡役所、警察署、各市役所、各町役場、商業會議所、新聞社、中等學校、高等女學校、其他の學校、各主要圖書館、刑務所等に贈呈し、國民涵養の一助に資することにした。其出版を重ぬること三回、殆ど晝夜兼行、部員を督して製本發送の事に從はしめ漸く大正十一年十二月を以て、豫定の寄贈を了したのである。

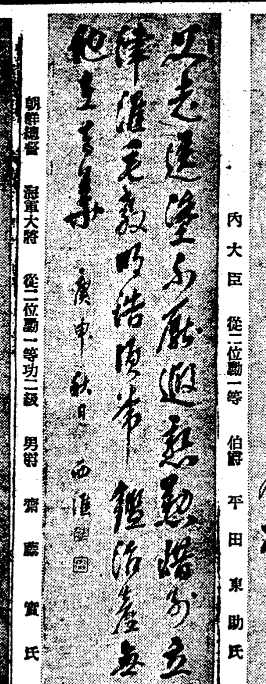
然るに其間遂に其以後に至るも、本書の希望者多數にして、之が應接に亦忙殺せられつゝある。然れども限り無き希望に對し、一々滿足を與へることは、到底不可能のことであるから、今後新聞紙上に順次其内容を登載することにしたのである。—

本書に掲載せる詩歌書畫は、悉く江湖知名の諸賢が、世を慨し國を憂ふる、赤誠の凝結せるもので、世道人心に裨益する處、蓋し多大なるべきを確信するものである。讀者請ふ之を諒として、熟讀玩味せられよ。

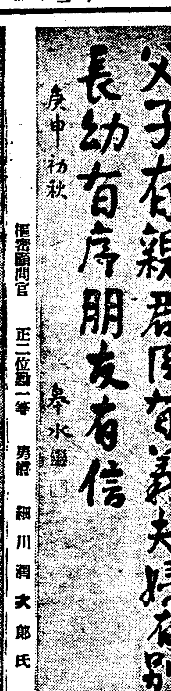
樞密院議長 正二位勳一等 子爵 清浦奎吾氏



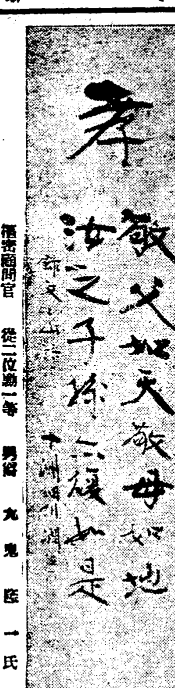
內大臣 從二位勳一等 伯爵 平田東助氏



朝鮮總督 海軍大將 從二位勳一等功二級 男爵 齋藤實氏

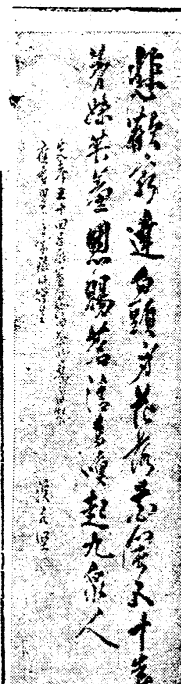


樞密顧問官 正二位勳一等 男爵 細川潤次郎氏

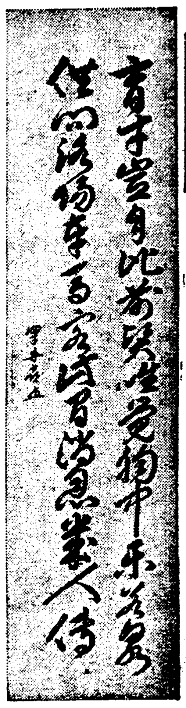


樞密顧問官 從二位勳一等 男爵 九鬼隆一氏

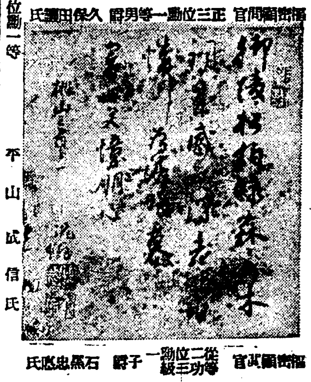
樞密顧問官 從二位勳一等 子爵 金子堅太郎氏



樞密顧問官 正三位勳一等 一木喜德郞氏

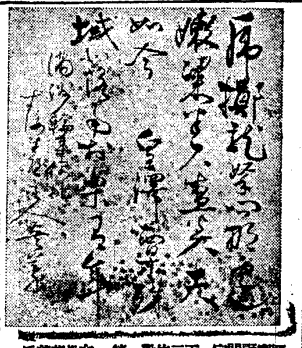


樞密顧問官 正三位勳一等 男爵 久保田讓氏



樞密顧問官 從二位勳三等功三級 子爵 石黑忠悳氏

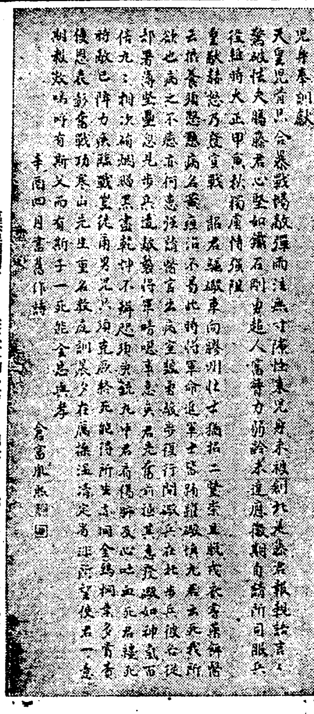
樞密顧問官 從二位勳一等 平山成信氏



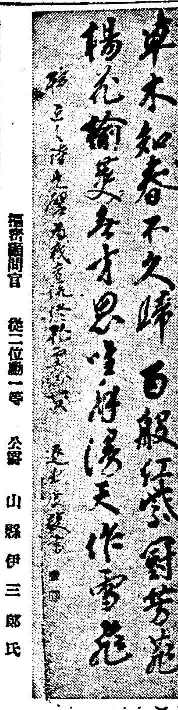
樞密顧問官 正三位勳一等 有松英義氏

樞密顧問官 正三位勳一等功四級 中村雄次郎氏

樞密顧問官 正三位勳一等 倉富勇三郎氏

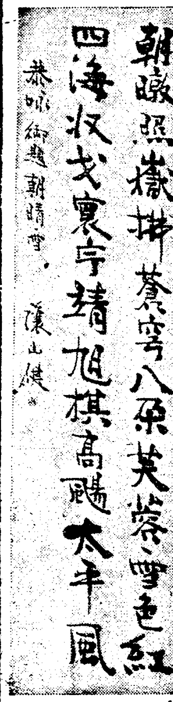


樞密顧問官 從二位勳一等 男爵 松岡康毅氏



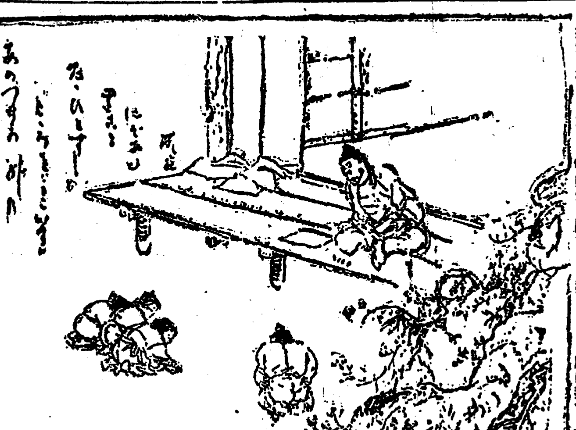
樞密顧問官 從二位勳一等 公爵 山縣伊三郎氏

臺灣總督 從三位勳一等 男爵 田健治郎氏



天聽に達した可憐な三孝子

元正天皇の養老四年、漆部司の令吏、丈部石勝なる者、犯せる罪に依り流罪に處せられた、石勝の三子長男祖父麿十二歳、弟安頭麿九歳、末子乙麿七歳であつたが、三人打連れ父の赦免を願ひ出た、『父は家貧しきが爲め、我等を育てんとて罪を犯せり、願はくば兄弟三人を官奴として、父の流罪を赦させ給へ』と淚を流して嘆願した然れ共法は枉ぐべからず、如何に願つても赦さるべき筋に非ずと諭したが、頑是なき三兒は、父の御赦免なき中は、死すとも去らずと、食事もせずに、門外に泣き叫ぶこと二日に及んだ官司の吏も三兒の孝心深きに感泣し、委細を奏聞して勅裁を仰いだ天皇聞こし召て詔ふやう『人間百行の中、孝敬より重きはなし今三兒が父の罪を贖はんとの願ひ。其志殊勝なれば聽き届けとらせよ』と仰せられ、祖父麿のみを官奴となし、父の罪はお赦しになつた、間もなく祖父麿も官奴を赦され其後兄弟三人夫々官司の吏に登庸され忠誠を抽んでて仕へたと云ふ。



俳句で知られた孝女秋色

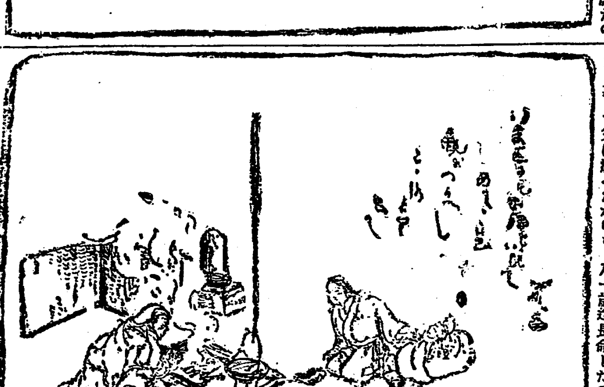
親孝行の女流俳人秋色は、本名を秋女と呼び、貧しき菓子職人、重兵衛の娘である、十三歳の春上野へ花見に行きし折、咲亂れたる櫻が根元危く井戸に臨める風情を見て、口吟んだ一句『井の端の櫻あぶなし酒の醉 秋女』と短冊に認め其枝に結んで歸つた、此句が上野の宮樣の御目に留まり、思ひ掛なき拜謁の光榮を得、其後俳諧の御相手として御前に召されることとなつた、父は宮樣の御庭拜見を望んで居たので、或日父を供人に仕立て、首尾克く望みを叶へたが、歸りは夜に入り大雷雨となつた、秋女には駕籠を賜はつたが、供人の父には雨合羽と竹の子笠を與へられた、そこで黑門を出ると駕籠舁には用を吩咐て遠ざけ、其間に父を駕籠に乘せ、自分は父の合羽を纏ひ、素早く供人に成り濟まして泥濘の中を素足で歸つたこの孝行に聞こえ、平素の孝行も知れて厚く褒賞され、又五代將軍の生母、一位桂昌院殿よりも白銀五枚を賜はり大に面目を施した、誠に床しき俳女が物語り、これも偏に孝行の賜である。

父の老衰をいたはつた孝子公助

攝政藤原兼家公の隨身に、下毛野武助、同公助と呼ぶ親子があつた。公助は至つて孝順の性質で、老ひたる父に仕へ、能く孝道を盡して居た一年公助は、右近の馬場に催されし、賭弓の晴れの競射に召出されたが、平素の手練にも似ず不覺を取つた、此有樣に父武助は、老の一徹に大に怒り、公助を大地に引据ゑ、散々に打擲した、公助は父の爲すが儘に任せ、淚を流しながら打たれて居た、人々は怪しみて、何故逃げざりしやと尋ねたところ公助從容として曰く『我父既に高齡故身も衰へ足も弱し、我若し逃げなば、父は怒りに任せ追はんとして若し躓き倒れ、怪我でもしたら如何にせん、思ひの儘に打ち玉はゞ、少しは怒りも和らぐべしと思ひ、態と逃げずに打たれたのである、さりながら身にこたへる程の痛みも感ぜぬは、斯く迄父は力の衰へ玉ひしかと、覺えず淚を流した』と答へた、老いたる父を思ひいたはる、孝子の至情言外に溢れて、聞くもの感歎せざるはなかつた。

爵三級を賜はりし孝女福依賣

文德天皇の御宇、薩摩國の貧しき農民の一人娘に、福依賣と云ふ孝女があつた、兩親共に年老て、殊に父は病の床に打臥して居るので福依賣は人に雇はれ、或は賃仕事をなし、自分は眠る目も眠らず、食べるものも碌々食べず、女の細腕一つで一家を支へ、若き娘に有勝な浮たる心杯は微塵もなく、僅に受ける賃錢を以て、兩親に孝養を盡して居た、斯くて父は病みながらも、八十歳迄長命したので、藥を求め、口に適ひたる食物を進め、懇に介抱すること、二十年の久しきに及び其間母にも又能く事へた、唯だそれ許りでなく、福依賣は此草深い片田舍の賤家に生長し、何一つ學問もせず、善き敎を聞いたこともないのに、其の兩親に事へる起ち居動作が、如何にも禮儀正しく嫺雅で、高貴の人としても、恥しからぬほどであつて、見るもの感歎せざるはなかつた、この事朝廷に聞え、仁壽三年官より御沙汰があつて、その孝行を賞せられ、爵三級を賜はり、門閭に旌表せしめられ、今に不朽の美談を傳へて居る。



美濃の孝子佛佐吉

佐吉は美濃國竹鼻の生れで、幼に雙親を喪し、又繼母の心が深く、誰云ふとなく『佛佐吉』と呼びなした、性來學問が好きで、幼き折から暇さへあれば、砂の上にでも手習ひする程であつた、成人の後、商を始めたが、正直一途に客の便利を計り、徒に貪ることをせず、今の所謂薄利多賣で信用を受け、見る間に店も繁昌したが、利益を私に付けんとはせず、人に施し陰德を積んで居た、或る時山中で賊に會ひ、云ふが儘に衣類財錢を差出したところ、賊は餘りの無雜作さに驚き呆れて『何處の者か』と尋ねた、佐吉は『竹鼻の生れである』と答へると『さては佛の佐吉樣か』と、直に奪つた金品を返して、賊は詫びたと云ふ事である、佐吉は又不便な道路を拓いたり、佛像を鑄て菩提寺に寄進したり、種々公共の爲に力を盡し、殊に親に對する孝行は不良の徒をも感心させ、近村迄も風儀を正くせしめたと云ふことである美濃國では今に至る迄『佛佐吉』と云ひ傳へて、其德風を仰いで居る。

孝貞を全うしたお石

石女は周防岩淵村の農民、伊八の妻である、伊八は放蕩無頼で、家に老ひたる親も妻も捨て、行方不明となつた、されど石女は嘆きも恨む色なく、忠實に舅姑に事へたが、程なく舅姑共足腰立たぬ病に罹つた、石女は殊に甲斐甲斐しく我手一つに大小便の世話迄も厭はず、只管孝養を盡した、元來石女の實家は、有福な農家である、父母は石女が此の辛苦を見兼ね、屢々實家に歸る樣に勸めたが、石女は之を肯入れない、父は自身連戾らんと、態々石の許を訪れ歸家を迫つた、石女は父に答へて曰く『貞女は二夫に見えず、一旦嫁しては再び實家に歸るなと、御諭下されしに非ずや、我身今實家に歸らば、舅姑は誰れが御世話をなさん、妾は夫の家を我家と心得て居ります』と、きつぱり斷つて仕舞つた、理の當然に詮術なく、父は石女の心にまかせた、爾來石女は志操益々堅實に、舅姑に仕へて居たが、これ等のことが近所に噂され何時しか夫伊八の耳に入り、流石親不孝の彼も、性は善なり、悔悟して、直に故郷に馳せ歸り、父母と妻とに、今迄の非行を謝し、それからは打つて變つた、眞人間となり、兩親に孝養を盡し、農事を勵むに至つたと云ふ、石女の如きは實に孝貞の鑑である。